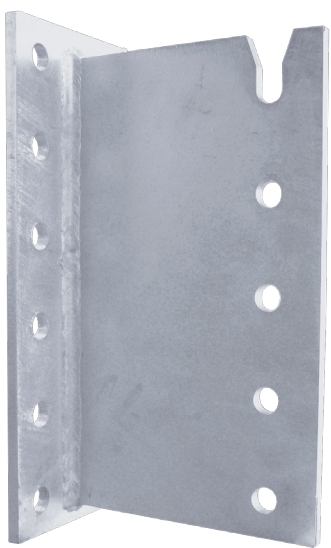


中・大断面用 梁受金物 誕生

NEWS

公共建築物等木材利用促進法が施行され、学校や公共施設等の2階建て以下の低層建築物の木造化が求められています。しかし、このような大型建築物は構造面においてクリアしなければならない問題が多く、特に接合部は部位ごとに金物を設計し安全性を確認するため、非常に時間と労力を要します。そこで、誰でも簡単に使用できる梁受金物を開発しました。

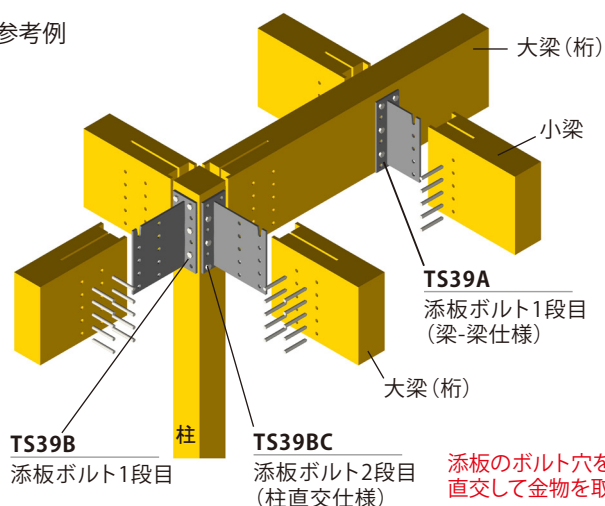
TS39A



TS39B



参考例



梁受金物 (TS39)

材質・仕上げ	SS400
	溶融亜鉛めっき HDZ55 他
使用箇所	柱-梁の梁端部
	梁-梁の梁端部
接合具	挿入鋼板:ドリフトピンφ16
	添板:M16ボルト
適用条件	150mm幅以上の木材

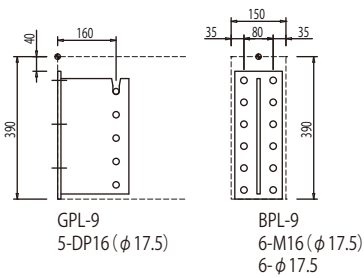
この金物を使用しても耐力壁は別途必要になります。

添板のボルト穴を使い分けることで
直交して金物を取り付ける際も同じ高さで施工できます。

■仕様図の一例

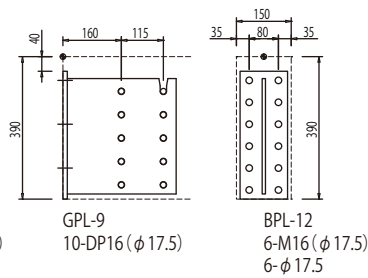
TS39A

断面: 150×390 (420)
受け材の梁せい: 390以上



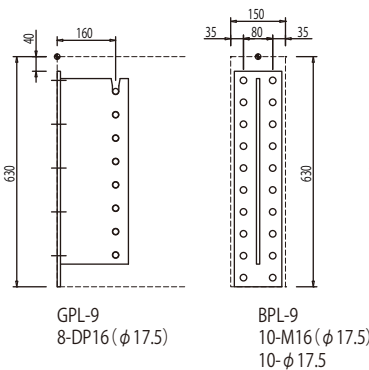
TS39B

断面: 150×390 (420)
受け材の梁せい: 390以上



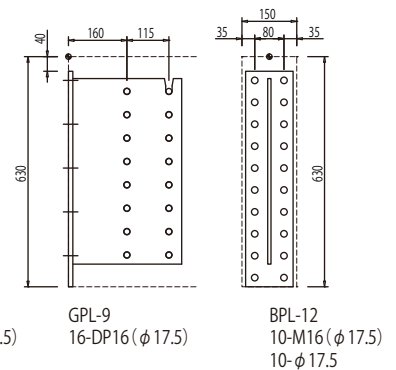
TS63A

断面: 150×630 (660)
受け材の梁せい: 630以上



TS63B

断面: 150×630 (660)
受け材の梁せい: 630以上



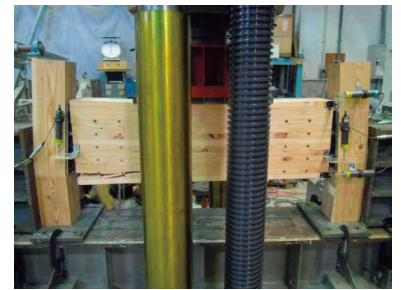
■梁受金物一覧

品番	部位	適用断面	受材の梁せい
TS21A	梁	150×210・240	270以上
TS27A	梁	150×270・300	270以上
TS27B	桁	150×270・300	270以上
TS33A	梁	150×330・360	390以上
TS33B	桁	150×330・360	390以上
TS39A	梁	150×390・420	390以上
TS39B	桁	150×390・420	390以上
TS45A	梁	150×450・480	510以上
TS45B	桁	150×450・480	510以上
TS51A	梁	150×510・540	510以上
TS51B	桁	150×510・540	510以上
TS57A	梁	150×570・600	630以上
TS57B	桁	150×570・600	630以上
TS63A	梁	150×630・660	630以上
TS63B	桁	150×630・660	630以上

上記品番のAとBは、挿入プレートに使用するドリフトピンの本数が違います。Bはより大きな耐力を負担させることが可能です。

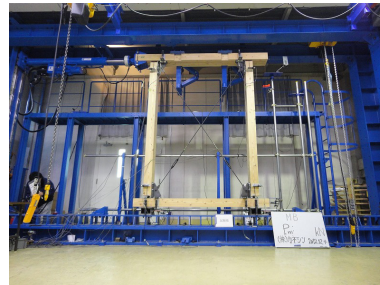
■梁受金物実験風景

本金物は(社)日本建築学会発行『木質構造設計規準・同解説—許容応力度・許容耐力設計法—』に基づき計算された耐力を設計に使用します。
下記実験は計算値が実際と合っていることを確認するためのものです。



■お知らせ

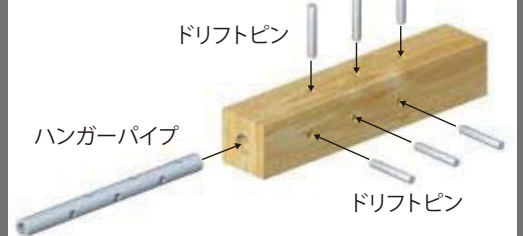
梁受金物と共に中大規模木造建築物向けブレース構造の壁構面と床・屋根構面のサポート対応を2013年開始予定



ラーメンフレームやトラス等に使用できるアイテムも別途ございますので、弊社までお問い合わせください。

ハンガーパイプとドリフトピンのみで剛接合が可能な「CPR接合システム」。
エポキシ樹脂を注入することで金物と木材が一体となり、強い構造体を実現します。⇒

CPR接合システム



KANESHIN 株式会社 カネシン <http://www.kaneshin.co.jp>

取扱店

K20130122A

●お問合せは TEL 0120-106781 FAX 0120-677010 カネシンCSセンター TEL 03-5671-1077

本社 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸4-19-12 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770
大阪支店 〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島7-6-23日の出ビル5階 Tel.06-6458-6446 Fax.06-6458-6696
仙台営業所 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-5-24第一パークビル803 Tel.022-349-8981 Fax.022-349-9033
福岡営業所 〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町2-8リアン祇園ビル8階-B Tel.092-292-7097 Fax.092-409-5553